

第3回入間市上下水道審議会 意見・回答一覧表（下水道事業）					
No.	質問者	資料番号	意見内容	対応課（担当）	回答内容
1	相葉委員	資料3-1 (P1)	3. 業務予定量 ①水洗化戸数は増加しているのに、	下水道施設課 (排水・維持管理担当)	①水洗化戸数は行政区域内人口の減少に伴い処理区域内における人口についても減少傾向にありますが、総世帯数については増加の傾向にあり（入間市の統計より）、同様に処理区域内における水洗化戸数についても増加傾向となっております。このことは、入間市全体の人口は減少傾向にあるものの、核家族化が進んだことにより世帯数が増えている背景が考えられ、今回650戸増加しております。
			②年間総排水量は増減なし、③一日平均排水量は減少する理由をご教示ください。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	②年間総排水量については1年間を4半期に分けた過去数年間の実績の最大値を採用して予算計上しており、台風やゲリラ豪雨等で雨が多かった年度を採用している場合は総排水量が多くなります。令和4年度と同じ方法で積算し、採用した年度も同じだったため、年間総排水量が同量となったものであります。そのため、年間総排水量は水洗化戸数だけではなく、雨による侵入水も関係することから、水洗化戸数が増加していたとしても年間総排水量はそれと関係なく増減することもあります。 ③②で積算した年間総排水量を令和4年度は365日で除して一日平均排水量を計算していますが、令和5年度はうるう年となるため366日で除した結果、減少しているものです。
2	相葉委員	資料3-1 (P2)	6. 当年度純利益が前年度と比較して△70.50%と激減する理由をご教示ください。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	近年の傾向を見ますと、収入である下水道使用料が減少傾向にあり、支出である修繕費等の維持管理費の増加に伴い、当期純利益が減少しています。補足といたしまして、令和5年度予算と令和4年度予算を比較いたしますと、下水道事業収益では下水道使用料で約2,800万円減少しており、また、下水道事業費用では修繕費や材料費などで約2,700万円増加しております。以上のことから、前年度と比較して純利益が減少となりました。
3					
4					
5					
6					